



(1) 核データ部会だより

2013 年度核データ研究会報告

実行委員会委員長 福井大学
山野 直樹
yamano_n@u-fukui.ac.jp

1. はじめに

核データ研究会は、核データに関する理論、実験、評価研究並びに利用に携わる研究者・技術者が一堂に会して研究発表や研究動向を議論する場として、1979年から毎年1回開催されています。本年（2013年）は旧シグマ委員会の50周年にあたりますが、核データ研究会も第35回目となりました。

定例の開催場所は東海村なのですが、去年は熊取の京都大学原子炉実験所で開催されたこともあり、本年は日本海側の福井県敦賀市にある福井大学附属国際原子力工学研究所で開催させていただきました。先ずは多くの皆さまのご協力により盛会裏に研究会を挙げる事ができましたこととお礼申し上げます。

研究会の概要と会議の様子についてご報告させていただきます。

2. 会議の概要

2013年核データ研究会は、日本原子力学会核データ部会、福井大学附属国際原子力工学研究所の主催、日本原子力学会中部支部、日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究部門の共催で、平成25年11月14日（木）午後から15日（金）の1日半の日程で、福井大学敦賀キャンパスの附属国際原子力工学研究所を会場として行われました。

国内外の参加者総数は64名で、内訳は大学関係44名（うち学生19名）、研究機関15名、民間5名、発表件数は37件で、口頭発表14件、ポスター発表23件が行われました。また、2つのチュートリアル講演が行われました。

4つのオーラルセッションは、「中性子核データ測定と解析の進展」、「核データの応用」、「最近のトピックス」、「中高エネルギー核反応研究の進展」で構成され、それぞれ

れの分野の招待発表が行われました。中性子核データ測定と解析の進展のセッションでは、マイナーアクチノイドの中性子捕獲断面積測定、長寿命核分裂生成物の中性子断面積測定、R 行列解析に基づく断面積及び誤差の評価、ポハン中性子実験施設における核データ測定について最新の核データ実験研究が報告されました。核データの応用のセッションでは、「もんじゅ」における核データの利用、「もんじゅ」を利用した核特性解析システムの開発、京大炉における ADS 研究の進展についての発表が行われました。最近のトピックスでは、加速器中性子源の工学設計のための重陽子核反応研究、 ${}^6,7\text{Li}$ に対する核子入射核データ評価への CDCC 理論の応用、レーザーコンプトン散乱 γ 線による光核反応断面積の測定についての最新動向の発表が行われ、中高エネルギー核反応研究の進展のセッションでは、中高エネルギー陽子入射に伴うフラグメント生成断面積の実験的・理論的研究の最近の進展、PHITS コードの概要、INC 模型の最近の進展、重イオン入射反応による中性子生成断面積の測定についての発表が行われました（写真 1 参照）。

ポスター発表は 3 階ロビーをポスター会場として、実験関係 7 件、理論・評価関係 11 件、積分検証 4 件、国際活動 1 件の計 23 件の発表が行われ、最新の研究発表に対する活発な質疑応答が行われました。大学院生の発表も 10 件行われ、若手研究者の活発な研究



写真 1 2013 年核データ研究会 オーラルセッション風景

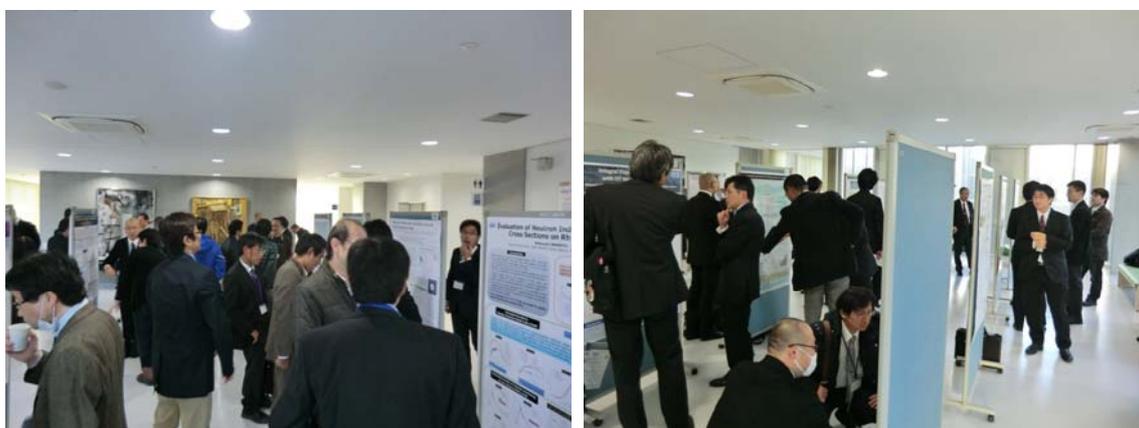


写真 2 2013 年核データ研究会 ポスターセッション風景

活動が印象的でした（写真2）。

会議参加者の意見交換と交流を深める懇親会はポスター発表セッション終了後に行われ、49名の参加を得て盛会でした。福井県の名産品である日本酒は好評でした。予算の関係上、越前カニはお出しできませんでしたが、会場スクリーンにはせいこカニ（雌の越前カニ）の捌き方の動画（U-tube）を流して、せめて雰囲気だけでも味わっていただきました。懇親会後の二次会では多くの方がせいこカニをご賞味いただいたのではないかと思います。



写真3 2013年核データ研究会 懇親会 風景

閉会式では、核データ研究会実行委員会委員の厳正なる投票によって決定されたポスター発表賞が、核データ部会長の千葉敏教授より3名の大学院生に対して授与されました。最優秀ポスター発表賞は、大阪大学大学院生の玉置真悟さん、優秀ポスター発表賞は、東京工業大学大学院生の新井拓朗さんと九州大学大学院生の長岡恒平さんに贈られました。おめでとうございます（写真4）。



写真4 2013年核データ研究会 ポスター発表受賞者

福井大敦賀キャンパスでこのように大規模な研究会を開催したのは初めてであり、準備の不便などで参加された方々には何かとご迷惑やご不便をお掛けしたのではないかと危惧しております。至らぬ点につきましてはお詫び申し上げます。なにとぞご容赦いただけると幸いです。当初、講演会場の発表をインターネットにストリーミング配信することを試みましたが、カメラが悪かったり音声ケーブルの不備で音声が入らなかったりしたので断念しました。中途半端ですが、Ustream サイトに一部がアップされていますので、ご興味のある方はご覧いただくと幸いです (<http://www.ustream.tv/channel/ndsymp>)。

現在、2013 年核データ研究会の報文集の編集作業に入っていますが、発表者の皆さまには 2014 年中の報文集発行のため、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

来年の核データ研究会は北海道大学が幹事校となり札幌で開催される予定です。来年も多くの皆さまのご発表とご参加をお願い申し上げます。

最後になりましたが、日本原子力学会核データ部会並びに中部支部から本研究会の発表学生の旅費のご支援を頂戴しましたことに感謝申し上げます。また、研究会での座長や受付などを快くお引き受けいただいた先生方、会場設営に協力してくれた福井大の学生諸君、研究会全般にわたりご協力いただいた核データ研究会実行委員会の委員の皆さまに厚く御礼申し上げます。

2013 年 12 月 28 日記

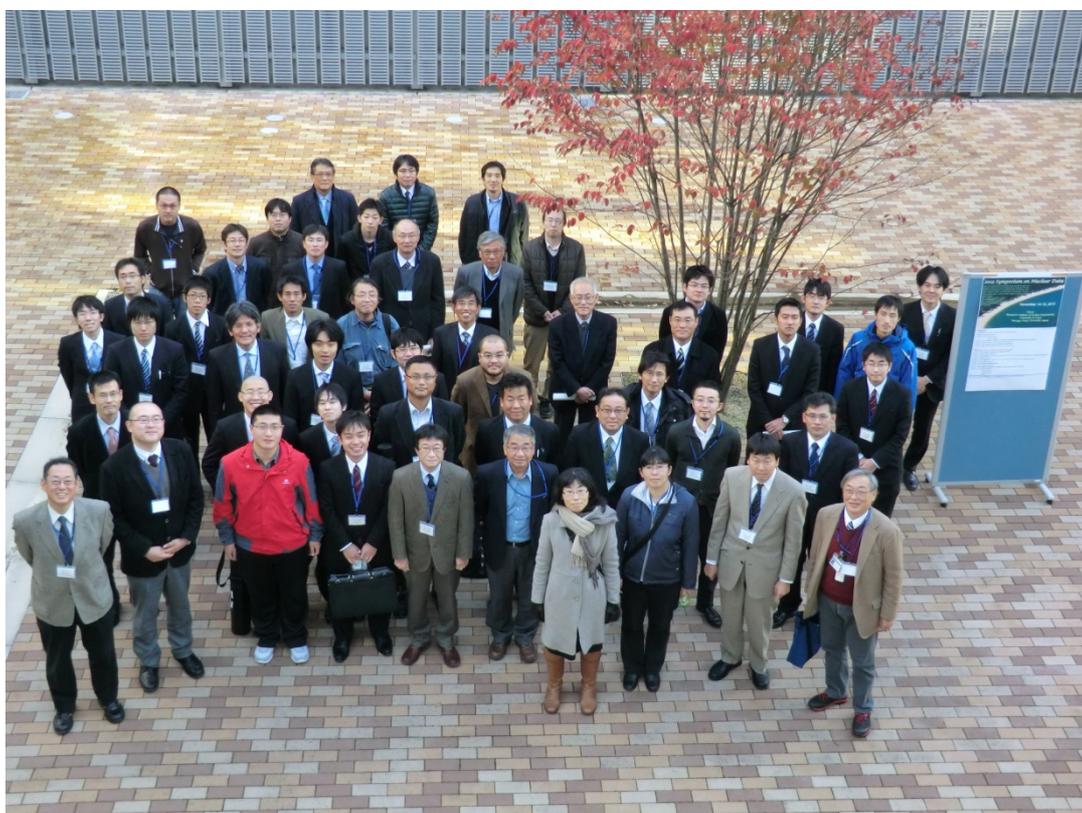


写真 5 2013 年核データ研究会 集合写真